2027年度　水戸赤十字病院　（病床数　387床）【1年次】

受入人数	【1年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	月額40万円		年間20万円		時間外・休日手当は月に40時間程度		平日8:30～17:00	24日		2日	12/29～1/3	月4回が上限（1回1万5千円）	有（自己負担額26,500円または31,500円）	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険等加入 病院賠償責任保険加入（個人加入は任意）

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	脳神経内科・リウマチ科・呼吸器内科・消化器内科からAとBの2群を3か月ずつ研修します。 【医師数】 常勤4人（指導責任者を含む、全員が研修の指導にあたります） 【令和7年度患者数】 外来患者数:34,505人　　延べ入院患者数:13,768人
救急科	慶應義塾大学病院で研修する。
外科	基本的に一般消化器外科の研修となりますが、乳腺外科の研修も可能です。 【医師数】 常勤11人（指導責任者を含む、全員が研修の指導にあたります） 【令和7年度患者数】 外来患者数:27,786人　　延べ入院患者数:22,993人
小児科	慶應義塾大学病院で研修する。
産婦人科	慶應義塾大学病院で研修する。
精神科	慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	並行研修で内科初診を週に1回程度行います。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
なし

○研修アピール
　水戸赤十字病院は、人道・博愛の赤十字精神のもとに全人的医療の提供に努めています。
　地域の中核病院として、二次救急医療施設、地域周産期母子医療センター、第二種感染症指定医療機関、エイズ診療拠点病院など公的な役割を担っており、さらに、地域医療支援病院の認定を受けてからは、地域の病院・診療所とも密接に連携して地域患者の受け入れを行っているほか、地域災害拠点病院として様々な災害救護活動に貢献しています。
　診療科間の連携もよく、がん診療に力を入れており、胃がん、乳がん、大腸がん、前立腺がんの診療実績は県内トップクラスで、症例が豊富です。
　平成27年4月から新たに緩和ケア病棟20床を開設したことで、悪性腫瘍の診断・治療から末期のケアまで一貫した医療が行えるようになりました。
　当院の医局員は多大学出身者から構成されています。基幹型研修病院に則した研修プログラムを組んでいます。当院における1年間で、他施設より多くの症例・手技が経験できると自負しています。一緒に頑張りましょう！

○研修医からのメッセージ
　当院は実践型の研修であることが最大の特徴です。
日常の診療では、指導医や後期研修医とのマンツーマンで患者さんの初診から退院まで密に治療に関わり、科によっては1年目から研修医が主体となって病棟管理を行います。
　手技についてもCV・穿刺・縫合結紮・気管挿管など、研修医がメインで行い、興味や勉強次第ではより専門的な内視鏡や外科手術を助手として経験することができます。実施後には指導医からのフィードバックがあり、日々確実に上達を感じています。
　また診療科を超えて症例を共有していただけるため、多くの症例に触れられます。
　研修医同士の仲も良く、リラックスしながらも共に向上しあえる雰囲気です。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　院長　野澤　英雄

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　企画課　渡邉

住所：　茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL：　029-221-5177　内線3154

E-mail :kikaku@mito.jrc.or.jp